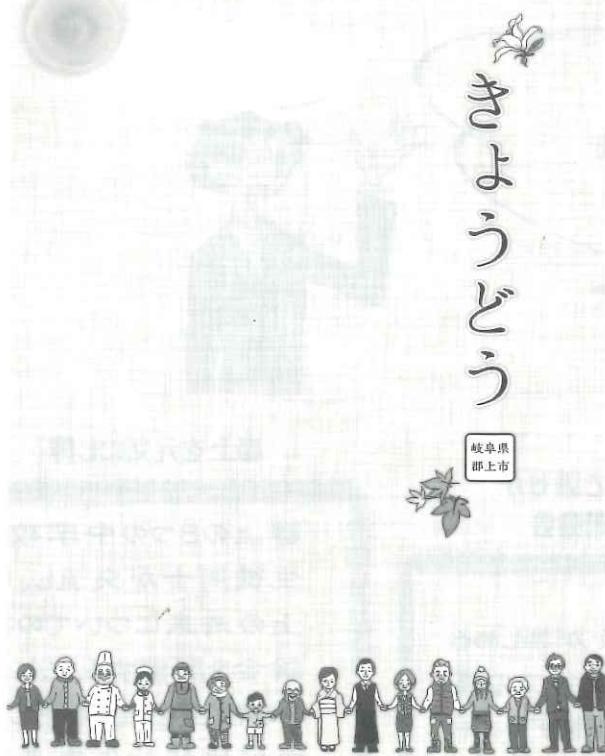


市民協働センター



市民協働ガイドブック

*きょうどう*が発行されました!!



大変多くの方にご協力をいただいて作成された「きょうどう」ガイドブックは、ひとりでも多くの方にご覧いただき、「協働」の一歩につながってほしいという願いが込められています。地域づくりへの取り組みにぜひともご活用いただき、わたしたちの郡上を盛り上げていきましょう！

平成26年3月1日、郡上市の市民協働ガイドブック「きょうどう」が発行され、4月1日、市内に全戸配付されました。

郡上市では、市民の皆さんと市役所とが共に力を出し合いながら地域の課題解決に取り組むためのガイドラインとして、平成21年度に「市民協働指針」を策定していますが、今回のガイドブックは具体的な地域課題解決の取り組みを紹介しながら、より市民協働を感じていただく目的で作成されたものです。

また、作成にあたっては市民協働センターが郡上市から委託を受け、5人の市民の方にもご協力をいただきながら、「硬く難しい言葉を避ける」「写真を効果的に取り入れる」などのアドバイスを反映させていただきました。

食べることは生きること

「食べる」とは「生きること」であるとされて、「これが生きるために必要なこと」です。実際に、生きるために必要なエネルギーを得るために、食物を摂取する行為が「食べる」ことになります。しかし、何を食べても、必ずしもそれが生きるために必要なエネルギーを得るわけではありません。つまり、健康的な食生活を送るためには、どのような食物をどれくらい摂取するかが重要になります。

岐阜県農業試験場 講師 三島 七奈子

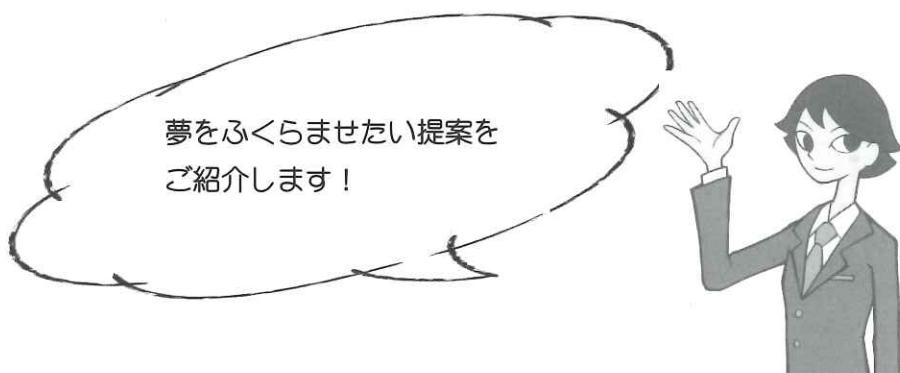
**今だからできること
愛しいわが子と過ごす時間**

今日はお天気もよく、公園で遊ぶことができました。子どもたちにとっても、親にとっても、最高の時間でした。子供達は元気で、公園で遊ぶ姿が見ていてとても嬉しいです。また、公園で遊ぶことで、子供達の体力がついています。また、公園で遊ぶことで、子供達の心も豊かになります。

あさひこ つながれ 岐阜県 郡上市 三島 七奈子

第2回 まちづくりプロジェクトコンテスト…受賞提案

まちづくりプロジェクトコンテストで出された提案には、素晴らしい内容のものがたくさんありますが、まだまだアイデア段階のものがあり、市民や企業、行政などそれぞれのご支援・ご協力が必要です。「興味がある」、「詳細を聞きたい」、「一緒に取り組んでいきたい！」という企業・団体・個人の方はぜひ市民協働センターまでお問い合わせください！市民協働センターのホームページ、郵送や電話、メール、FAXでもご意見を受け付けてあります。（電話番号、住所、アドレス等は最終ページに記載しています。）



中学の部

郡上の水の魅力を伝えよう

観光客から「水が飲める場所はどこですか？」と聞かれることがよくあるため「水飲み場マップ」をつくるとよいと考えた。さらにそのマップを空のペットボトルにつけて町内にある土産物屋にて販売することで町の活性化が期待できる。

八幡町で誰もができる運動会

老若男女が楽しめる八幡町全体での運動会を開催する。年齢別に行い、郡上の様々な場所で実施する。

郡上を元気にし隊

郡上の8つの中学校の生徒同士が交流し、郡上の未来についての討論会を開催する。これから郡上を担うわたしたちが積極的に意見交換することで、郡上のまちづくりに生かす。

一般・高校の部

GUJO下駄ウォーキングカラソロン大会

踊りの町郡上をさらに活性化させるため、下駄を履いて歩くウォーキング大会を開催する。参加賞として下駄、郡上の水等を提供し、市外からの参加者も増やすことで経済効果が期待できる。

お年寄りの知恵～高校生の観光案内～

一人暮らしのお年寄りの家を高校生が訪問し、郡上の歴史やおすすめスポット等、情報を教えてもらい、それをもとに高校生が観光客に郡上の観光案内をする。この活動により、お年寄りに元気になってもらい、観光地としての活性化が期待できる。

第2回 まちづくりプロジェクトコンテスト…その後…

昨年11月に開催された「第5回郡上市まちづくりフェスティバル」の「まちづくりプロジェクトコンテスト」において受賞された提案が、実現に向けて動き出しています。

郡上を子育てしやすい町にするために、郡上市民病院の待合室を
「ありがとう」でいっぱいにしよう

提案者 加藤祐里さん

提案内容

妊婦さんや子育て中の母親は、日頃から悩みを打ち明けるような場が少なく、不安を抱えている。また病院で働く医師や看護師は激務の毎日を送っている。そこで、先輩ママたちが今までに感じた病院の先生や助産師さんへの「ありがとう」のエピソードのメッセージコーナーを病院の待合室に設け、気軽に交流できるような場をつくり、先生や助産師さんに感謝を伝えることで、病院と患者側の相互理解を深める。

2月3日、郡上市民病院の先生、提案者の加藤さん、市民協働センターのスタッフで懇談会を実施しました。以前助産師として医療現場で勤務していたことのある加藤さんは、患者側が医療現場の実態を知ることが重要だとお互いの気持ちを伝え合うことを提案されました。始終和やかな雰囲気の中、意見交換が盛んに行われました。また、この他にも、実現に向けて着々と準備が進められている提案がありますので、決定後にお知らせいたします！



提案者の加藤さんと子育て中のママたち↑

「ありがとう」のメッセージ

(4月18日現在23通集まっています)

市民病院の助産師さん

第1子を出産の時は、促進剤を打っての2日がかりのお産でした。夜中に痛みにそびく私の背中を担当の助産師さんはずっとさすて励ました。以前市立病院で家族の付き添いもなく、一人で不安だった私はどれだけ救われたことか。無事に産まれ「おめでとう、よかったね！」と一緒に喜んでくれた笑顔、今でも鮮明に覚えています。

ありがとうございました。

白鳥町、Y

2月3日、郡上市民病院の先生、提案者の加藤さん、市民協働センターのスタッフで懇談会を実施しました。以前助産師として医療現場で勤務していたことのある加藤さんは、患者側が医療現場の実態を知ることが重要だとお互いの気持ちを伝え合うことを提案されました。始終和やかな雰囲気の中、意見交換が盛んに行われました。また、この他にも、実現に向けて着々と準備が進められている提案がありますので、決定後にお知らせいたします！



あしらせ

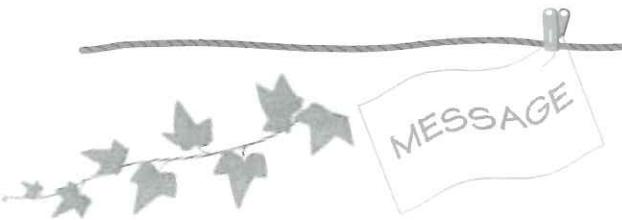
新センター長が就任しました。

プロフィール

前田 真哉
(まえだ まさや)



- 1962年 郡上市白鳥町に生まれる
1980年 郡上北高校を卒業
1988年 千葉市役所に入職
2009年 郡上へUターン
2012年 越美ぶんけん事務局長に就任
2013年 市民協働センター運営委員
副委員長に就任



長い間、行政分野と市民活動を主な活動の場としてきました。

その中で蓄積されたノウハウをセンター長という役職に活かせたらと思っています。よろしくお願ひします。



編集後記

山にはじぶしの花、野山には桜が咲き、郡上にも春の訪れを感じられる季節となりました。

また、人々の暮らしの中に様々な新生活がスタートし、未来へ続く新たな一歩を踏み出しています。

春という季節は、自然界の生き物が進化し飛躍する、大切な季節かも知れません。そもそも Spring (春) と Spring(バネ)の原語には、水が湧き出る(源泉)という意味がある事からすると、春はやはり飛躍の季節だと思います。

市民協働センターも2年目の春を迎え、これまで撒いた種が芽を出して、いよいよ花のつぼみを膨らませる時となりました。

この度、市民協働センターでは、市民協働ガイドブックを作成しましたが、このガイドブックは協働の意味を多くの市民の方々に知ってもらい、協働の理念のもとに行政と市民が力を合わせて、地域の活性化の活動を手助けするため作成された冊子です。

このガイドブックを通して、市民全員が力を出し合って皆の力で未来へと進化し続ける郡上を創造する事ができればと思っています。

運営委員 田中 和久

都上市
市民協働センター

TEL 0575-88-2217

FAX 0575-88-2218

E-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地 郡上市役所 大和庁舎 1階

業務日時：月曜日～金曜日 8:30～17:15

(土・日・祝祭日・12/29～1/3 をのぞく)

※事前にご予約いただければ、平日は 20:00 まで、

土・日曜日は 10:00～17:00 まで対応可能です。